

廃水浄化装置

担当部所 : 栃木県産業技術センター 県南技術支援センター
 共同出願者 : 中部電力株式会社、古河産機システムズ株式会社

詳細な説明

鉱山廃水の発生場所が山奥等へき地の場合、
 廃水処理装置の設置はコストが高くなりがち

設置
敷地の確保

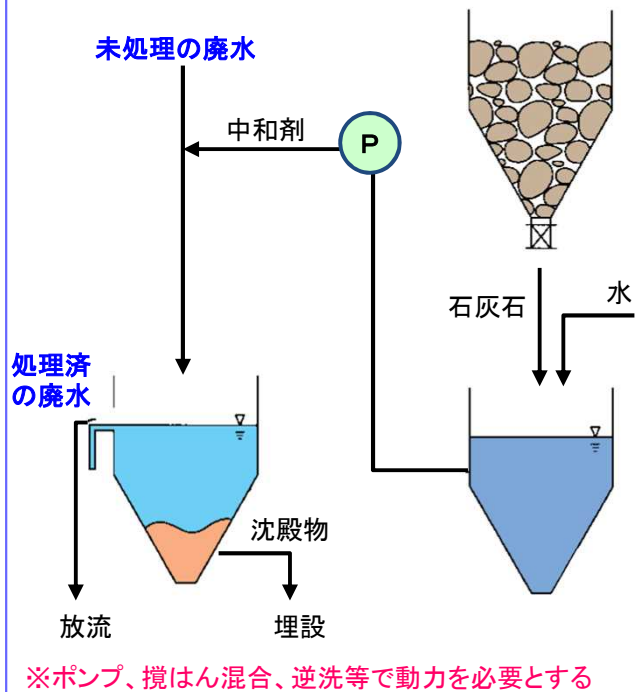
動力
電気設備等

メンテナンス
沈殿物除去、逆洗

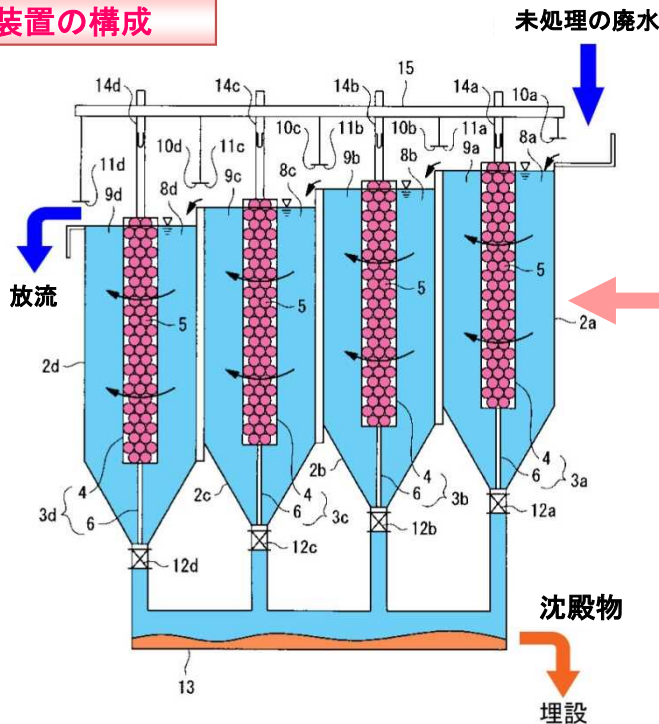
本装置の特徴

- 充填したゼオライトにより重金属を除去
- 処理装置以外の施設不要
- 運転に動力を必要としない
- 沈殿物の発生量が少なく、付着物はハンマー等の打撃で落とせ、メンテナンスが容易

従来方式の処理の例



装置の構成



● 廃水は装置内を自然流下で流れ処理されるので、動力を必要としない

内部にゼオライトを充填

◆ 充填するゼオライトの一例



造粒型



皮膜型

- ゼオライトは付着物を落とすことで処理能力が回復 → 長期間使用可能
- 簡素な機構なので交換が容易

発明の効果

- 重金属を含む鉱山や工場廃水の処理装置として利用可能。
- 特に設置条件の厳しい山間部・へき地では、設置やメンテナンスのコストが抑えられ、本装置の導入に適している。

